

2016年度 環境活動レポート

(対象期間 2016年1月～2016年12月)

発行日：2017年3月10日
(改定日：2017年5月31日)

伸栄産業株式会社

【目次】

1. 環境理念	P1-2
2. 環境方針	P3
3. 環境目標	P4
4. 事業所別環境目標	P5
5. 環境活動計画	P6
6. 環境目標の実績	P7
7. 事業所別環境目標の実績①	P8
事業所別環境目標の実績②	P9
事業所別環境目標の実績③	P10
事業所別環境目標の実績④	P11
8. 環境活動計画結果①	P12
環境活動計画結果②	P13
9. 環境活動取組の事例(実施写真)	P14
10. 環境関連法法規の要求事項及び順守状況	P15
11. 全体評価	P16

1. 環境理念

【環境理念】

伸栄産業株式会社は地球環境にやさしい社会をつくり、次の世代に安心して安全な社会を引き継げるよう環境に配慮した会社づくりを目指します。
社員一人一人が地球環境を考え、自分たちがその社会の一員であることを認識し日々の行動をしていきます。
そして会社全体が地球環境を考えた「持続可能な社会」づくりに貢献できるよう努力していきます。

取組の対象組織・活動

《組織の概要》

(1) 名称及び代表者

伸栄産業株式会社
代表取締役社長 吉兼 透泰

(2) 所在地

本社	愛知県名古屋市熱田区旗屋町616番地
豊田支店	愛知県豊田市西岡町長土井13番
名古屋営業所	愛知県名古屋市熱田区旗屋町401-4
小牧営業所	愛知県小牧市文津字山岸1005-1
厚木営業所	神奈川県厚木市恩名1-4-12プリンス第2ビル
大宮営業所	埼玉県さいたま市北区宮原3-584-2
大阪営業所	兵庫県尼崎市崇徳院2-42-5COM15D

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

管理責任者	：	管理部 取締役	内田 順子	TEL052-682-3288
担当者	：	管理部 課長	土屋 秀介	

(4) 事業内容

機械部品販売業(その他の小売業)

(5) 設立年月日

設立年月日 : 1962年8月10日
事業年度 : 7月1日~6月30日

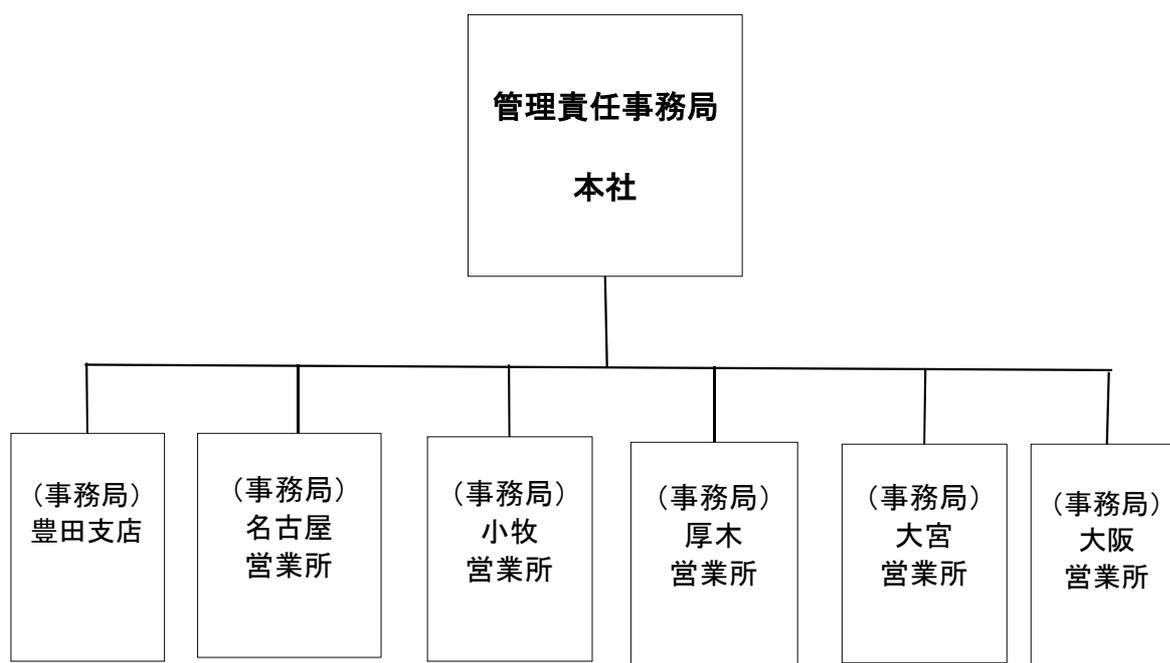
(6)事業規模

資本金 : 1億円
売上高 : 59億円(2016年6月度)

	本 社	豊 田	名 古 屋	小 牧	厚 木	大 宮	大 阪
従業員数(名)	17	20	12	13	7	6	4
床面積(m ²)	400	300	200	300	150	150	80

◆合計社員数 79名
◆合計床面積 2,300m²

(7)組織図



◇組織運営に関して

吉兼社長は最高責任者として方針を明文化し責務と役割分担を決め運営内容をチェックし、最終評価を行う。

内田取締役は現場管理責任者として方針に基づき運営を行いPDCAを回す。

各営業所長は現場管理責任者として内田取締役の基、方針に従い行動する。

経営企画室メンバーは内田取締役のフォローを各営業所に訪問した際に行う。

事務局はデータの収集等で内田取締役のフォローを行う。

2. 環境方針

- (1) 事業活動において、環境に与える影響を的確に把握し、可能な範囲で環境目標を定め、目標管理により環境汚染防止及び環境保全活動の継続的改善活動を行います。
- (2) 環境に関する法律及び協定を順守するとともに関連する社会的要求を順守します。
- (3) 環境に配慮した商品の提供に努めます。
- (4) 環境負荷の低減
 - ①使用電力の削減を目指します。
 - ②ガソリンの使用量の低減を目指します。
 - ③グリーン購入を通じて環境保全を目指します。
 - ④水の使用量を控え排水量削減を目指します。
 - ⑤リユース、リサイクルにより廃棄物削減を目指します。
- (5) 方針の周知徹底
 - ①この環境方針は全社に掲示及び毎月の社内会議にて周知徹底します。
 - ②環境方針の内容を社外にHP及びその他の方法で公開します。
- (6) 環境教育の実施
 - ①全社員に環境改善活動の教育を徹底します。

制定日 : 2014年9月1日

伸栄産業株式会社

代表取締役社長

3. 環境目標 中期環境目標の見直し

◇全社合計(対象期間:2016年~2018年)

項目	単位	基準値(2015年)	2016年目標	2017年目標	2018年目標
電力使用量	KWh	200,883	198,874	196,885	194,917
の削減	kg-co ²	103,994	102,954	101,925	100,905
ガソリン使用量	L	93,806	92,868	91,939	91,020
の削減	kg-co ²	217,799	215,621	213,465	211,330
水道量の削減	m ³	878	869	861	852
可燃ごみの削減	kg	1,681	1,664	1,648	1,631
不燃ごみの削減	kg	459	454	450	445
豊田支店 ごみの削減	廃プラ 缶・ペット	5.0m ³ 179Kg	4.9m ³ 175Kg	4.8m ³ 170Kg	4.7m ³ 165Kg
グリーン購入	%	60	62	65	68
環境商品販売	台	212	220	225	230

■過去の実績を見直し、環境責任者と環境事務局で話し合った結果中期目標を見直すことにしました。

◆化学物質等の取扱いはありません

◆電力のCO²排出係数は中部電力管内は「0.516」、
東京電力管内は「0.525」 関西電力管内「0.514」で計算しました。

◆グリーン購入の数値は現在使用している事務用消耗品の中の
購入件数比率です。(本社にて一括管理)

◆環境に配慮した商品はダイキン製品の省エネ型製品の販売台数です。
(本社にて一元管理)
(対象省エネ製品はダイキン製省エネ型ユニット製品です。)

4. 事業所別環境目標

項 目	単 位	本 社	豊田支店	名古屋営業所
電力使用量の削減	KWh (kg-co ²)	42,349 (21,853)	62,613 (32,309)	18,752 (9,676)
ガソリン使用量の削減	L (kg-co ²)	7,195 (16,706)	32,408 (75,244)	16,669 (38,701)
水道使用量の削減	m ³	87.1	251.4	136.6
可燃ごみの削減	kg	462	別途	445
不燃ごみの削減	kg	85	別途	225

項 目	単 位	小牧営業所	厚木営業所
電力使用量の削減	KWh (kg-co ²)	28,379 (14,644)	19,867 (10,430)
ガソリン使用量の削減	L (kg-co ²)	18,591 (43,165)	6,285 (14,592)
水道使用量の削減	m ³	154.8	95
可燃ごみの削減	kg	316	240
不燃ごみの削減	kg	100	15

項 目	単 位	大宮営業所	大阪営業所
電力使用量の削減	KWh (kg-co ²)	18,978 (9,964)	7,935 (4,079)
ガソリン使用量の削減	L (kg-co ²)	7,799 (18,108)	3,921 (9,105)
水道使用量の削減	m ³	85.1	59.4
可燃ごみの削減	kg	63	138
不燃ごみの削減	kg	19	11

5. 環境活動計画

環境活動内容
《使用電力量の削減》
①エアコンの省エネ設定を徹底する。(夏:28度、冬:20度設定)
②事務所、倉庫等、未使用時は消灯する。
③使用していない部屋のエアコンは停止する。
④使用していないパソコン等の主電源は切る。
⑤パソコン、コピー機、印刷機などは省エネ設定をする。
⑥空調機のフィルターの掃除やメンテナンスを行う。
《ガソリン使用量の削減》
①急発進、無駄なアイドリングなどせずにエコ運転をする。
②営業車を車検時などにHB車や低燃費車に切り替える。
③非効率で無駄な移動を営業車で行わない。
④公共交通機関を有効活用する。
⑤営業車の整備点検をきちんと行い燃費効率を良くする。
《水の使用量の削減》
①手洗い、洗い物時に積極的に節水を心掛ける。
②洗車時に積極的に節水を心掛ける。
③トイレの水洗及び洗浄時に積極的に節水を心掛ける。
《リユース、リサイクルの推進》
①ごみの分別収集を徹底する。
②使い捨て製品の使用を極力減らす。
③詰め替え可能な製品に置き換える。
《グリーン購入の推進》
①事務用品をグリーン購入適合製品へ積極的に切り替える。
②営業車をグリーン購入適合品へ順次切り替える。
③コピー、プリンターなどグリーン購入適合品に切り替える。
④パソコン、蛍光灯等、グリーン購入適合品に切り替える。
⑤名刺、コピー用品等もグリーン購入適合品に切り替える。
《環境に配慮した製品販売の推進》
①ダイキン製品油圧ユニットEHUエコリッチの販売を強化する。

6. 環境目標の実績

◇全社合計(対象期間:2016年1月~12月)

項目	単位	前年(2015)	目標	実績(2016年)	達成率
電力使用量	KWh	200,883	198,874	204,262	97%
の削減	kg-co ²	103,656	102,954	105,740	97%
ガソリン使用量	L	93,806	92,868	95,110	98%
の削減	kg-co ²	217,799	215,621	220,812	98%
水道量の削減	m ³	878	869	621	140%
可燃ごみの削減	kg	1,681	1,664	1,419	117%
不燃ごみの削減	kg	459	454	435	104%
グリーン購入	%	60	65	35	54%
環境商品販売	台	212	200	301	151%

■豊田支店のみゴミ削減目標を別途作成

- ◆化学物質等の取扱いはありません
- ◆電力のCO²排出係数は中部電力管内は「0.516」、
東京電力管内は「0.525」 関西電力管内「0.514」で計算しました。
- ◆上記以外の産業ごみはほとんどありません。
- ◆グリーン購入の数値は現在使用している事務用消耗品の中の
購入件数比率です。(本社にて一括管理)
- ◆環境に配慮した商品はダイキン製品の省エネ型製品の販売台数です。
(本社にて一元管理)
対象省エネ製品はダイキン製省エネ型ユニット製品(EHUエコリッチ)です。

7. 事業所別環境目標の実績①

◆本社

項目	単位	前年(2015)	目標	実績(2016年)	達成率
電力使用量	KWh	42,777	42,349	38,548	110%
の削減	kg-co ²	22,073	21,853	19,891	110%
ガソリン使用量	L	7,268	7,195	6,221	116%
の削減	kg-co ²	16,875	16,706	14,443	116%
水道量の削減	m ³	88	87	77	113%
可燃ごみの削減	kg	467	462	612	75%
不燃ごみの削減	kg	86	85	143	59%

◆豊田支店

項目	単位	前年(2015)	目標	実績(2016年)	達成率
電力使用量	KWh	63,246	62,613	65,129	96%
の削減	kg-co ²	32,635	32,309	33,607	96%
ガソリン使用量	L	32,735	32,408	32,991	98%
の削減	kg-co ²	76,004	75,244	76,593	98%
水道量の削減	m ³	254	251	188	134%
廃プラの削減	m ³	5.0	4.9	4.4	111%
缶・ペットの削減	kg	179.0	175.0	198.0	88%

7. 事業所別環境目標の実績②

◆名古屋営業所

項目	単位	前年(2015)	目標	実績(2016年)	達成率
電力使用量	KWh	18,941	18,752	19,707	95%
の削減	kg-co ²	9,774	9,676	10,169	95%
ガソリン使用量	L	16,837	16,669	17,338	96%
の削減	kg-co ²	39,092	38,701	40,252	96%
水道量の削減	m ³	138	136	104	131%
可燃ごみの削減	kg	450	445	165	270%
不燃ごみの削減	kg	227	225	137	164%

◆小牧営業所

項目	単位	前年(2015)	目標	実績(2016年)	達成率
電力使用量	KWh	28,666	28,379	32,711	87%
の削減	kg-co ²	14,792	14,644	16,879	87%
ガソリン使用量	L	18,779	18,591	17,381	107%
の削減	kg-co ²	43,601	43,165	40,353	107%
水道量の削減	m ³	156	154	100	154%
可燃ごみの削減	kg	319	316	289	109%
不燃ごみの削減	kg	101	100	80	125%

7. 事業所別環境目標の実績③

◆厚木営業所

項目	単位	前年(2015)	目標	実績(2016年)	達成率
電力使用量	KWh	20,068	19,867	20,329	98%
の削減	kg-co ²	10,355	10,430	10,673	98%
ガソリン使用量	L	6,348	6,285	7,681	82%
の削減	kg-co ²	14,739	14,592	17,832	82%
水道量の削減	m ³	96	95	66	144%
可燃ごみの削減	kg	242	240	227	106%
不燃ごみの削減	kg	15	15	40	38%

◆大宮営業所

項目	単位	前年(2015)	目標	実績(2016年)	達成率
電力使用量	KWh	19,170	18,978	19,397	98%
の削減	kg-co ²	9,892	9,964	10,183	98%
ガソリン使用量	L	7,878	7,799	8,719	89%
の削減	kg-co ²	18,291	18,108	20,243	89%
水道量の削減	m ³	86	85	48	177%
可燃ごみの削減	kg	64	63	82	77%
不燃ごみの削減	kg	19	19	26	73%

7. 事業所別環境目標の実績④

◆大阪営業所

項目	単位	前年(2015)	目標	実績(2016年)	達成率
電力使用量	KWh	8,015	7,935	8,441	94%
の削減	kg-co ²	4,136	4,079	4,339	94%
ガソリン使用量	L	3,961	3,921	4,779	82%
の削減	kg-co ²	9,197	9,105	11,096	82%
水道量の削減	m ³	60	59	38	155%
可燃ごみの削減	kg	139	138	121	114%
不燃ごみの削減	kg	11	11	10	110%

8. 環境活動計画の取組結果及び評価、次年度の取組①

■評価内容：○良い、△まあまあ良い、▲あまり良くない、×良くない

環境活動内容	
《使用電力量の削減》	評価
①エアコンの省エネ設定を徹底する。(夏:28度、冬:20度設定)	△
②事務所、倉庫等、未使用時は消灯する。	○
③使用していない部屋のエアコンは停止する。	○
④使用していないパソコン等の主電源は切る。	△
⑤パソコン、コピー機、印刷機などは省エネ設定をする。	○
⑥空調機のフィルターの掃除やメンテナンスを行う。	○
<p>■評価: エアコンの温度設定は設定値が厳しめのため設定温度での運用は業務の効率を低下させるため緩やかな運用になってしまった。</p> <p>新年度は温度設定枠を緩和し、節電しつつも業務に支障がないよう運営を行う。</p> <p>未使用の部屋のこまめな消灯やパソコン電源等は毎月の業務会議やチェックシートを使い、少しでも消し忘れ等を防止していきたい。</p> <p>空調機のフィルターなどの掃除は大掛かりになるので出来るだけ年一回は念入りに掃除やメンテナンスを行っていきたい。参考資料(別紙②)</p> <p>◆取組: 今年度は業務会議時に評価・対策シート(別紙①)内容を発表して毎月必ず問題点の抽出及び対策の実施を行っていく。</p>	
《ガソリン使用量の削減》	評価
①急発進、無駄なアイドリングなどせずにエコ運転をする。	○
②営業車を車検時などにHB車や低燃費車に切り替える。	○
③非効率で無駄な移動を営業車で行わない。	△
④公共交通機関を有効活用する。	△
⑤営業車の整備点検をきちんと行い燃費効率を良くする。	○
<p>■評価: 1月より全営業車にテレマックスという装置を取り付け運転状態の確認が出来るようになり誰の運転が不適切かをデータで見ることができ、その改善により効率の良い運転に変わってきた。</p> <p>ただクレーム対応での移動は営業マンの能力で変わるため少しでも意味のない無駄な運転をしなくてもよい営業活動ができるように指導していく。</p> <p>公共交通機関の有効利用は一部の営業所は不便な場所にあり改善しにくい。</p> <p>遠隔地への出張などは直行・直帰を推奨し効率を上げていく。</p> <p>◆取組: テレマックスの更なる活用によりアイドリング時間の削減やアクセルワーク等によりより省エネ運転の実施を行う。営業活動は今まで以上に効率化を目指し無駄な移動時間を減らす。</p>	

8. 環境活動計画の取組結果及び評価、次年度の取組②

■評価内容：○良い、△まあまあ良い、▲あまり良くない、×良くない

環境活動内容	
《グリーン購入の推進》	評価
①事務用品をグリーン購入適合製品へ積極的に切り替える。	△
②営業車をグリーン購入適合品へ順次切り替える。	△
③コピー、プリンターなどグリーン購入適合品に切り替える。	○
④パソコン、蛍光灯等、グリーン購入適合品に切り替える。	△
⑤名刺、コピー用品等もグリーン購入適合品に切り替える。	△
<p>■評価：グリーン購入を増やすべく意識をより高め購入比率を上げる努力はしている。 コピー用紙は、環境対応商品になり、名刺は今後の課題です。 品質とコストの関係で全製品グリーン購入に変えていないところがある。</p> <p>◆取組：現状、事務用消耗品等の削減に努めていることもあり新規で購入する場合は今まで以上に内容の確認をし、グリーン適合商品を発注するよう心掛ける。</p>	
《水の使用量の削減》	評価
①手洗い、洗い物時に積極的に節水を心掛ける。	○
②洗車時に積極的に節水を心掛ける。	△
③トイレの水洗及び洗浄時に積極的に節水を心掛ける。	○
<p>■評価：節水は全水回りに節水マークを貼り、啓蒙に勤めている。その結果削減できている営業所も出てきている。特に洗車時に水の出っぱなしは避け、バケツ等を活用し溜め水の活用を推奨している。トイレも男性は出来るだけ小レバーを使い無駄な水を流さないよう心掛けている。</p> <p>◆取組：今まで以上に業務会議等で積極的に節水に対する啓蒙、注意、喚起を行い、毎月(2か月)、営業所単位で目標対比を行う。</p>	
《リユース、リサイクルの推進》	評価
①ごみの分別収集を徹底する。	○
②使い捨て製品の使用を極力減らす。	△
③詰め替え可能な製品に置き換える。	△
<p>■評価：会社方針で社内に無駄なものを置かないことを徹底しているため、ゴミの処分が多い時がある。今後は持ち込むゴミを減らす事と会議資料のペーパレス化、パンフなどの紙媒体の販売促進物から、タブレットを利用した動画を含めた販売促進ツールを見直す。</p> <p>◆取組：ゴミは社内に持ち込みをしない方針を徹底させ、ゴミそのものを削減していく。さらに会議資料等は印刷することなくタブレットの活用やプロジェクターの導入を行う。啓蒙活動を毎月の業務会議に盛り込んで徹底していく。</p>	

9. 環境活動取組の事例(実施写真)

■節水取組み(全社全ての水回り)



■節電取組み(全社全てのエアコン機器)

新 ■節電取組み(LED照明の設置) 本社



10. 環境関連法法規の要求事項及び順守状況

環境法規等の名称	公布・法律番号	適用内容等	手続き等の実施内容	順守確認
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	H10.6 法律5号	特定家電用品の破棄 (テレビ、エアコン、 冷蔵庫等)	なし	-
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	H25.6 法律64号	エアコン・室外機の点検	3ヶ月に1度の点検	順守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	H20.5 法律34号	排出業者 (一般廃棄物、 産業廃棄物等)	指定業者に必要費用を支払い引き取り実施	順守
廃棄物の適正な処理の促進に関する条例(愛知県)				
県民の生活環境の保全等に関する条例(愛知県)				
資源の有効な利用の促進に関する法律				

2017年5月31日 改定

《備考》

- * 環境関連法規等の順守状況を評価した結果、違反はありませんでした。
- * また過去3年間、環境関連法法規の要求事項に関する違反、苦情、訴訟等はありませんでした。

13. 代表者による全体評価と見直し結果

- 2016年度のエコアクション21の環境改善活動への取組は、前回指摘のあった活動内容の甘さにたいしてより具体的に改善活動を行いました。
前年度に比べ意識レベルは随分高くなり、全営業所少しずつ温度差が、縮まってきました。
今後も改善活動の継続と積極的な行動計画及び実施を行っていきます。
- 電力使用量の削減やガソリン使用量の削減では経費面で直接、業績に直結するため積極的な投資を行い削減に努めてきました。
年度初めに全営業車にテレマティクスを導入し営業車の運用状況をデータで見れるようになり運用方法の見直しをしてきました。
営業車も順次、ガソリン車からハイブリッド車への移行し、更には電気自動車購入の検討と投資を行ってきました。
電力では事務所の照明をLEDに交換しエコへの取り組みを形で見せて啓蒙を進めるとともにエアコンの上手な使い方を考えてもらうよう進めていきたいと思えます。
- 2017年度はさらにグリーン購入を増やし、エコカーへの移行や省エネ家電の積極的導入などソフト面以外にハード面での目標達成を目指していきたくと思えます。
- 環境に配慮した商品販売は、目標台数より大幅に売上を伸ばし、お客様に喜ばれ環境にも配慮する結果となりました。今後もより一層貢献できるよう努めていきたくと思えます。

2017年3月10日

伸栄産業株式会社
代表取締役 吉兼 透泰